

平成21年度当初予算の概要

I 予算編成の背景

1. 国の経済状況及び予算編成状況

我が国経済は、世界的な景気後退が続く中で、内需・外需ともに厳しい状況が続くが、「安心実現のための緊急総合対策」、「生活対策」及び「生活防衛のための緊急対策」による効果が見込まれ、年度後半には民間需要の持ち直しなどから低迷を脱していくことが期待されている。

そうした中で、平成21年度の地方財政は、地方財政計画の規模の抑制に努めてもなお財源不足が大幅に拡大する状況にある。社会保障関係経費の自然増が見込まれることに加えて、地方財政の借入金の償還負担が高水準で続くところであり、将来の財政運営が圧迫されることが強く懸念されている。

その一方、100年に一度と言われる経済危機の中、国民生活の不安を解消するとともに、地域の雇用を維持するためには、地方公共団体が国との十分な連携の下、地域の実情に応じた適切な対策を講じていくことが必要であるとした予算としている。

2. 地方財政対策

平成21年度においては、安定的な財政運営に必要な地方交付税及び一般財源の総額を確保することを基本として、「基本方針2006」等に沿って、国の歳出予算と歩を一にして、給与関係経費や地方単独事業の抑制を図る一方、極めて厳しい財政運営を強いられている地方の切実な声を踏まえた地方交付税の増額と地方財政計画の歳入歳出の適切な積み上げに取り組むこととした。

i. 生活防衛のための緊急対策に基づき地方交付税を1兆円増額。

地域雇用創出推進費の創設（H21、22） 0.5兆円

地方財源の充実 0.5兆円

ii. 地方交付税の総額を増額確保。（平成16年度水準）

iii. 地方公共団体金融機構の創設。（地方公営企業等金融機構を改組）

その結果、地方財政運営の指標となる地方財政の姿は、

地方財政の規模が、82兆5,600億円で、対前年度比△8,500億円、△1.0%

地方一般歳出が、66兆2,200億円で、対前年比0.7%と平成11年度以来10年ぶりに大幅な増加となっている。

3. 本市の今後の財政見込

(1) 収支の見通し

平成20年に策定した財政想定・計画では、平成19年度策定したものと大きく変わるところはなく、歳入、歳出とも減少傾向をたどっていくことが見込まれるが、合併後20年間の健全財政の基調はほぼ守られることが確認できた。

本市の歳入においては、歳入一般財源は減少傾向であるが、義務的経費のうちの人件費が合併効果により減少し、義務的経費以外の一般財源は微増する傾向にある。

一方歳出では、扶助費や公債費で微増する傾向にあるので、新たな市民サービスへの対応のためには、スクラップアンドビルドの徹底、事業の「選択と集中」、そして財源のシフトなど多方面からの事業の構築を図る必要がある。

(2) 財政指数の見通し

財政健全化法による「財政健全化」を判断する四つの指標（①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率）で「一定の基準」を超えることは当面なく、公債費関係の比率も適正範囲で推移する見込みである。一方経常収支比率は、平成 19 年度決算で 90%を超えることとなったが、施設等のインフラ整備に加え、退職者の増などによりこの傾向は数年続く傾向にある。

(3) 今後の課題

財政健全化法が平成 20 年度決算より適用となることから、このことを十分考慮するとともに、財政の健全化は地方自治体の基本であることを意識した上で、総合計画に定めた本市の目指すべき将来像を実現するための事業展開を進める必要がある。

経常収支比率が高い数値で推移することが見込まれるが、行政経営システムに基づき、市民納付度を高めながら、補助金の見直しや歳出削減による予算総額の圧縮など不断の行財政改革を実行しなければならない。

また、平成 20 年度決算から、国の作成基準に準拠した財務諸表 4 表の作成・公表が義務付けられていることから、早急に対応するとともに、今後とも機会を捉え、市の財政状況をより分かりやすい形で提供することが必要である。

4. 予算編成の基本的な考え方

地方行政を取り巻く環境は益々厳しさを増している中、事業の見直しを積極的に行い、歳出を抑制しながら、予算規模の圧縮を目標とし、財政運営の健全化を図るものとした。

- i. 平成 21 年度市政運営に向けての考え方で示した「活力・安心・潤い」の重点取組
- ii. 実施計画事業の重点選別と創意工夫
- iii. 区及び部単位の枠配分方式の導入
- iv. 財政健全化法に基づく財政健全化判断比率を意識した市債総額の抑制
- v. 国県の予算編成方針や制度新設・変更等の積極的な情報収集

《参考》

(単位：百万円)

	平成21年度 当初予算額	財政想定・計画				
		H21	H22	H23	H24	H25
予算規模	28,903	29,888	27,382	26,474	27,541	27,596
市債発行額	4,428	4,645	2,720	3,333	3,841	3,883
うち合併特例債	1,837	2,376	1,212	2,315	2,820	2,758
実質公債費比率(%)	—	17.2	17.1	17.0	17.1	17.6
将来負担比率(%)	—	132.3	138.6	141.2	142.9	137.1

※実質公債費比率は、景気低迷による市税の減少の影響により前年度想定値と比較して高くなる。

なお、平成 20・21 年度借入れの元金償還がそれぞれ 24・25 年度に開始することから上昇する見込みである。

5. 平成 21 年度当初予算

予算の総括

平成 21 年度の当初予算は、国の財政支出の抑制は図りつつも、生活防衛のための緊急対策の重点配分の予算編成に呼应し、喫緊の課題である地域活性化や雇用対策を優先に、総合計画の実施計画に掲げた事業を確実に推進するための予算編成とし、地方財政の環境は厳しさを増しているが、目的基金を有効に活用しながら、財政調整基金の取り崩しを最小限に抑えた。

その結果、予算総額は対前年比 770,034 千円 (2.6%) 減少し、289 億 293 万 6 千円となった。

(1) 歳入内訳

歳入面では、市税では軽自動車税で増加するものの、市民税で景気低迷による法人市民税の減、固定資産税で評価替えや火力発電所の償却資産の減少により市税全体で428,070千円(4.3%)の大幅な減となった。地方譲与税では、地方道路譲与税の名称を地方揮発油譲与税に改め、自動車取得税では一般財源化に伴い減額される一方、地方特例交付金ではその一部補てん措置として減収補てん特例交付金(自動車取得税減収補てん分)が創設された。地方交付税では、特別交付税で合併加算が終了するが、普通交付税で生活防衛のための緊急対策として地域雇用創出推進費の創設などにより、556,000千円(8.7%)増となった。国庫支出金では、地方道路交付金事業の事業量の減少や合併処理浄化槽の補助対象の見直しなどにより、35,867千円(2.0%)減となった。県支出金では、県民税徴収事務委託金や国民健康保険基盤安定などの減少により、109,157千円(7.8%)減となった。繰入金では、地域振興基金繰入金で増加するものの、財政調整基金繰入金や庁舎建設基金繰入金などの減少により、928,935千円(61.3%)減となった。諸収入では、浦尻地域整備事業負担金で減少するものの、子育て応援基金協力金や電源地域振興関連事業助成金などの増加により、9,035千円(0.6%)増となった。市債では、小高区庁舎建設事業や庁舎耐震改修事業で減少するものの、広域消防小高分署整備事業、陸上競技場改修事業、新図書館建設事業や臨時財政対策債などの増加により、178,300千円(4.2%)増となった。

(2) 歳出内訳

歳出の目的別では、総務費で小高区庁舎建設事業、鹿島区庁舎耐震改修事業及び市役所庁舎耐震改修事業などの事業費の減少により1,119,550千円(22.8%)減、民生費で後期高齢者医療療養給付費負担金や後期高齢者医療特別会計繰出金などの増加により40,923千円(0.6%)増、衛生費で市営陣ヶ崎公園墓地整備事業や医師の待遇改善に伴う病院事業会計補助金の増加などにより19,021千円(1.0%)増、農林水産業費で大区画ほ場整備事業負担金やかんがい排水負担金などの減少により224,350千円(14.7%)減、商工費で相馬野馬追祭場地整備事業、小高浮舟ふれあい広場拠点整備事業及び地域消費拡大支援事業補助金などにより92,228千円(7.9%)増、土木費で前田住宅整備事業が増加するものの、地方道路交付金事業や浦尻地域整備事業の事業量の減少、公共用地先行取得事業特別会計の繰上償還の減少などにより583,752千円(15.9%)減、消防費で広域消防小高分署整備事業により270,266千円(26.3%)増、教育費でスポーツセンター改修事業が減少するものの、新図書館建設事業などの増加により、520,869千円(11.9%)増、公債費で公的資金繰上償還などにより223,232千円(5.7%)増となった。

(3) まとめ

総合計画の2年目を迎え、実施計画掲載事業を確実に推進するとともに、昨今の経済情勢を踏まえ、国県と歩調を同じく雇用対策・経済対策に係る施策の展開や地域の資源を十分活かした事業を構築し、本市の目指す将来像実現に向けた地域づくりを進めなければならない。

また、財政の健全性を維持するために、使用料手数料等の見直しにより受益者負担の適正な料金設定、歳出については「最少の経費で最大の効果」をあげるべく効率的な行政運営に努めなければならない。